



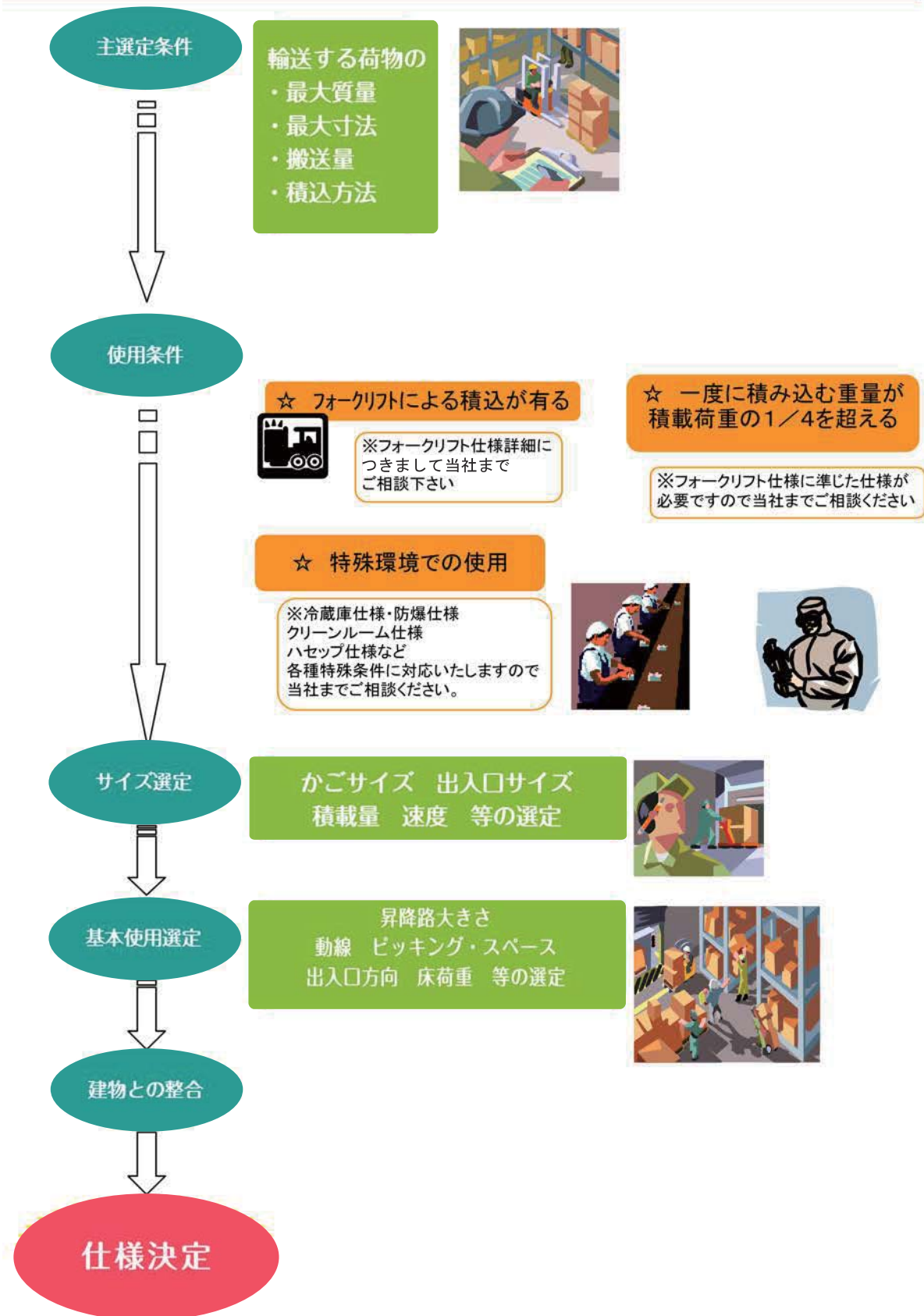
三洋輸送機工業株式会社

SANYO YUSOKI KOGYO Co.Ltd Elevator and Escalator

トラクション式 機械室レス
荷物用エレベーター



エレベーターの選定1/4



エレベーターの選定2/4

エレベーターを選定するにあたり、下記の仕様をお知らせください。

1. 搬送物

パレット搬送



台車



カゴ台車



ダンボールケース



その他()

2. 搬送物の大きさ

単体寸法、重量 パレット、台車等の寸法、重量

一度に運びたい必要搬送量(例えば4パレットづつ、一度に運びたい)

3. 必要搬送量

一時間あたり最大()個、パレット

4. 搬送物の積み込み方法

フォークリフト



ハンドリフト



手押し台車



その他()

5. 使用積み込み機器の自重

()KG (機器メーカーに御確認ください。)

エレベーターの選定3/4

1. 荷物用エレベーターの運転操作方式

操作方式	用途	運転内容
SAC 単式自動運転方式 シングル オートマチック 基本仕様	倉庫	*標準的な荷物用エレベーターに適用します。 *乗場ボタンは、呼ボタンのみで昇降の区別はありません。1つの呼びにตอบสนองして運転中は他の呼びにはตอบสนองせず、また呼びを登録する事もできない専用運転方式。 *乗場には使用中灯がつきます。 *戸は一定時間後に閉まりますが、戸開放時間を延長することもできます。
SAC-SEN 単式自動運転方式 乗場送りボタン付 有償付加仕様	工場	*オペレーターが行き先階に同乗しない荷物用エレベーターに適用します。 *エレベーターの運転はSACと同じ方式です。 *乗場にも送りボタンが付いており、乗場から目的階にかごを送ることができます
SCC 全自動運転方式 セレクトイ コレクティブ 有償付加仕様	ショッピング センター	*各階の乗場ボタンにตอบสนองして停止する乗用エレベーターと同じ運転方式です。 *手押車等の軽量荷物も運べる人荷共用エレベーターに適用。 *乗場には、昇り・降りボタンがついています。

2. 速度制御方式

制御方式	適用速度(m/min)	制御方式説明
可変電圧可変 周波数制御	30~60	基本的には高速エレベーターの場合と同様である。従来の交流帰還制御に比べ最大約51%の省エネルギーとなります。

3. エレベーターのかご床面積と積載量・定員の関係

○積載量と定員の算出法(建築基準法施行令第129条の5 同解説)

種類	積載荷重(N)	積載量(kg)	定格積載量(kg)
荷物用	(法定積載荷重) $W=2,500 \times S$ 以上	(法定積載量) 左記 $\div 9.8$	法定積載量を上回る又は下回る概数
荷物用 (フォークリフト仕様)	(法定積載荷重) $W=2,500 \times S$ 以上	(法定積載量) 左記 $\div 9.8$	(フォークリフト自重+積荷重量) $\div 1.5$ を上回る概数

注1 S:かご床面積(m²)

2 構造計算には[法定積載量]又は[定格積載量]を比較して、大きい値を使用する。

エレベーターの選定 4/4

4. ドア方式

ドア方式		適用
横開き ドア	2S : 2枚戸片開き	比較的開閉時間が早い左右方向開きのドア方式です。
	3S : 3枚戸片開き	
	4CO : 4枚戸両開き	
上開き ドア	2U : 2枚戸上開き	かご室間口と同じ出入口幅が確保しやすい 上下方向開きのドア方式です。 注: 人荷共用のエレベーターには適用できません。
	3U : 3枚戸上開き	

5. 施設環境 (以下の条件を満たすことが必要です。)

要素	特殊環境下での建屋側の対策	特殊環境に対応するエレベーターの仕様
温度 昇降路 最低 -5℃ 最高 40℃	*寒冷地 (室温が15℃より低下する地域) *高温側は稼動時室温が40℃以下に成る様冷 通気・冷却対策	冷蔵庫型
湿度 昇降路 (連続3日以内) 月平均 80%以下 日平均 90~95%以下	*通気・換気による湿度低下対策 *ピット排水設備対策 *二重壁構造による水滴防止対策	防湿操作盤
風雨 昇降路および乗降ロビー に風雨の浸入のないこと	*屋外に面した乗場の雨水侵入防止対策 *ピット排水設備対策 *昇降路の雨水処理対策 *運転限界 (風速15m以下)による管理	屋外型 防水操作盤
振動 揺動 昇降路が振動、揺動 しないこと	事例 ●特殊建築・工作物の振動・揺動 (設計値) ●船舶の揺動	
化学 金属を損傷または腐食な ど、電気接点の接触障害 となるような化学的有毒 ガス又は爆発性ガスがな いこと。	事例 ●海岸地区 ●温泉地 ●化学工場、火力発電所、製鉄所等及び その隣接地	防爆型
塵埃 高度な清潔・衛生管理が 必要な場合	事例 ●精密機械製造工場 ●食品加工工場 ●製薬工場 *昇降路への塵埃侵入防止対策	クリーンルーム型 ハセップ型

基本機種一覧

(ユーザー仕様、建物レイアウト、荷役形態、搬送物、搬送量などに応じたオーダーメイドの基本機種です)

乗り入れる搬送装置と適応範囲	機種	型式	積載量 (kg)	かご内法 (mm)		ドア	出入口 (mm)		速度 (m/min)
				間口	奥行		幅	高さ	
	標準型	F500L2S	500		1500	2S	1300	2100	30/45/60
		F600L2S	600	1300	1800				30/45/60
		F750L2S	750		2300				30/45/60
		F1000L2S	1000	1700	2300	2S	1700	2100	30/45/60
		F1500L2S	1500		2400				30/45/60
		F2000L2S	2000	2200	2800	2S	2200	2100	30/45/60
		F2500L3S							3S
		F2500L2U	2500	2500	3000	2U	2500	2500	30/45/60
		F2500L3U				3U			
		F3000L3S				3S			
		F3000L2U	3000	2500	3400	2U	2500	2500	30/45/60
		F3000L3U				3U			
		特殊型	F3500L3S				3S		
	F3500L2U		3500	2800	3800	2U	2800	2500	30/45/60
	F3500L3U					3U			
	F4000L2CO					2CO			
	F4000L2U		4000	3000	4500	2U	3000	2500	30/45
	F4000L3U					3U			
	F4500L2CO					2CO		2500	
	F4500L2U		4500	3200	4500	2U	3200	3000	30
F4500L3U					3U				
F5000L2CO					2CO		2800		
F5000L2U	5000		3200	5000	2U	3200	3000	30	
F5000L3U					3U				
F6000L2CO					2CO		2800		
F6000L2U	6000		3500	5800	2U	3500	3000	30	
F6000L3U					3U				
F7000L2CO					2CO		2800		
F7000L2U	7000		4500	5800	2U	4500	3000	30	
F7000L3U				3U					

注1: 積載量が2500kg以下のロープ式荷物用エレベーターの積載可能なものは、手押し車やキャスターです。フォークリフトの乗り入れはできません。

注2: 積載量3000kg以上のロープ式荷物用エレベーターで、荷物の積み込み(積み下ろし)作業時にフォークリフトのご使用をご予定の場合は、当社までご相談下さい。

注3: ドア方式 S→片開き CO→センターオープン U→上開き

注4: 二方向出入口タイプは、かご背面にも出入口ドアを設置できます。

意匠仕上仕様 (乗場・カゴ)



※操作表示器具は単式自動運転方式(SAC)の場合を示します。

意匠仕様... 2枚戸片開き

乗場	三方枠	大枠ステンレスヘアライン仕上(有償付加仕様)
	乗場戸	鋼板塗装仕上げ
	敷居	硬質アルミ製 (積載量2000kg以下) 鋼製塗装仕上げ(積載量2000kg超過)
	乗場ボタン	インジケーター組込式押しボタン(枠内)
カゴ	内室	鋼板塗装仕上げ
	入口門	ステンレスヘアライン仕上げ
	かご戸	鋼板塗装仕上げ
	床	床用鋼板灰色塗装仕上げ
	敷居	乗場敷居に準ずる
	照明	埋込型蛍光灯器具
	荷摺	ステンレスヘアライン 仕上げ(有償付加仕様)

意匠仕様... 3枚戸片開き

乗場	三方枠	大枠ステンレスヘアライン仕上(有償付加仕様)
	乗場戸	鋼板塗装仕上げ
	敷居	硬質アルミ製 (積載量2000kg以下) 鋼製塗装仕上げ(積載量2000kg超過)
	乗場ボタン	インジケーター組込式押しボタン(枠内)
カゴ	内室	鋼板塗装仕上げ
	入口門	ステンレスヘアライン仕上げ
	かご戸	鋼板塗装仕上げ
	床	床用鋼板灰色塗装仕上げ
	敷居	乗場敷居に準ずる
	照明	埋込型蛍光灯器具
	荷摺	ステンレスヘアライン 仕上げ(有償付加仕様)



※操作表示器具は全自動運転方式(SAC)の場合を示します。(基本仕様)

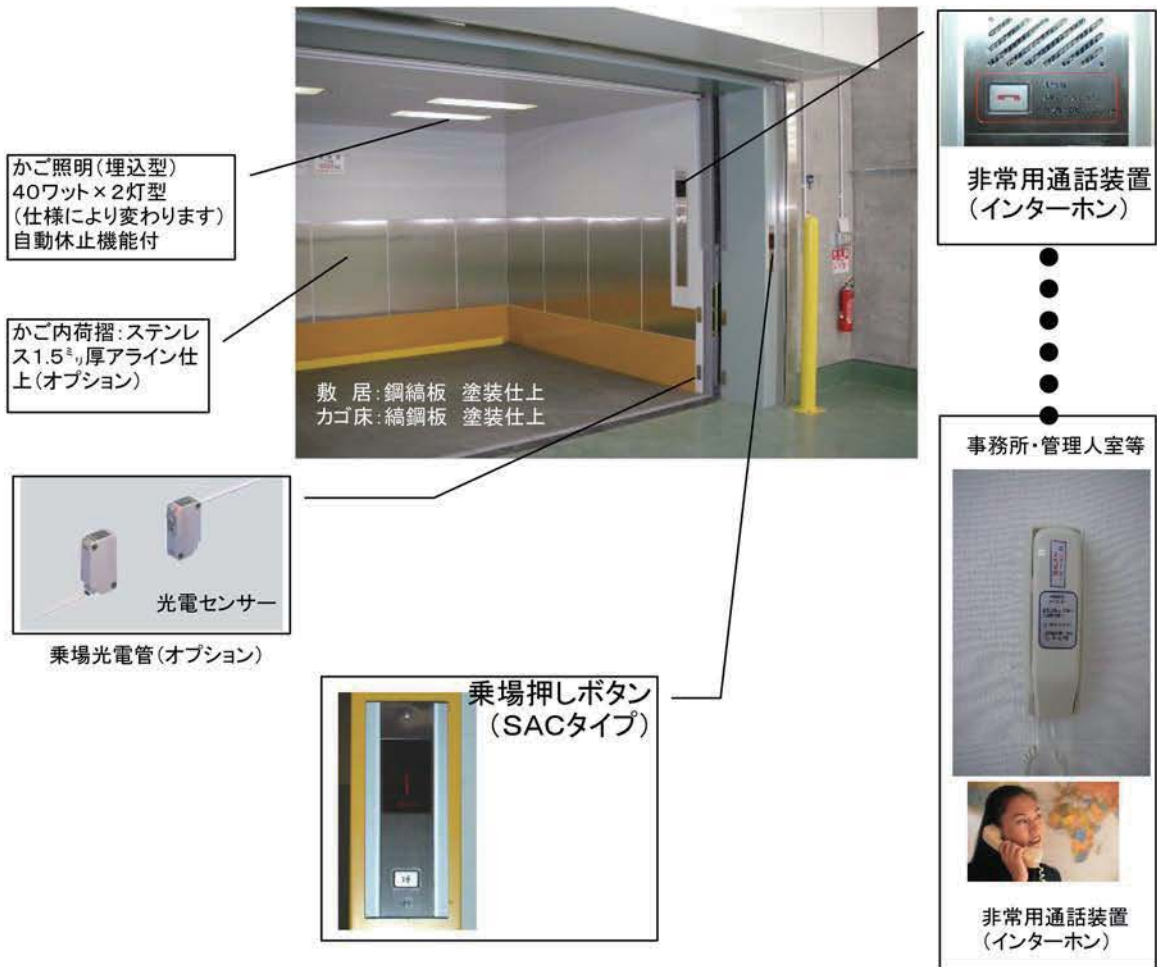
意匠仕様... 2枚戸片開き

乗場	三方枠	大枠ステンレスヘアライン仕上(有償付加仕様)
	乗場戸	鋼板塗装仕上げ
	敷居	縞鋼板塗装仕上げ
	乗場ボタン	インジケーター組込式押しボタン(枠内)
カゴ	内室	鋼板塗装仕上げ
	かご戸	鋼板塗装仕上げ
	床	床用鋼板灰色塗装仕上げ
	敷居	乗場敷居に準ずる
	照明	埋込型蛍光灯器具
	荷摺	ステンレスヘアライン 仕上げ(有償付加仕様)



(注)袖壁に取付けた場合を示す。

カゴ内仕上



●:基本仕様、○:有償付加仕様

項目		仕様内容	仕様区分
意匠仕様	壁	鋼板塗装仕上げ	●
		ステンレスヘアライン仕上げ	○
	かご戸	鋼板塗装仕上げ	●
		ステンレスヘアライン仕上げ	○
	天井	鋼板塗装仕上げ	●
	照明タイプ	埋め込み型蛍光灯照明器具	●
	換気扇	シロッコファン	●
	出入口柱	ステンレスヘアライン仕上げ	●
	養生幕	かご内の保護(パンチングマット マグネット取付式)	○
	荷摺	ステンレスヘアライン仕上げ(1.5t)	○
	床	縞鋼板塗装仕上げ	●
	敷居	2000kg以下	硬質アルミ製
2000kg超過		鋼板製メッキ仕上げ	
上開き戸の時		かご床一体構造縞鋼板塗装仕上げ	

乗場意匠



●:基本仕様、○:有償付加仕様

項目		仕様内容		仕様区分
意匠仕様	三方枠	大枠	鋼板塗装仕上げ	●
			ステンレスヘアライン仕上げ	○
		末広形/角形	鋼板塗装仕上げ	○
			ステンレスヘアライン仕上げ	○
	乗場戸	鋼板塗装仕上げ	●	
		ステンレスヘアライン仕上げ	○	
	敷居	2000kg以下	硬質アルミ製	●
		2000kg超過	鋼板製メッキ仕上げ	
上開き戸の時		縞鋼板塗装仕上げ		

操作盤 仕様 (乗場・カゴ)



かご操作盤

操作ボタン



乗場・かご操作ボタンにこだわりました

エレベーターとのインターフェースとして最も重要な操作ボタン荷物用エレベーターに求められるあらゆる条件をクリア、操作性に優れ見やすく、耐久性に優れた仕様となっています。

バックライト型LED・ストローク式入力

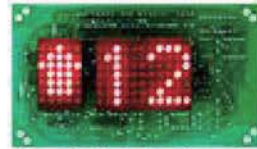
押しボタンの周りをバックライト型LEDが照らし、見やすく表示します。荷物用エレベーターにおいての使用条件を細かくチェック。軍手やゴム手袋をしたままでもはっきりと操作したことが指先に伝わる、ストローク式入力を採用しました。

表面はステンレス ヘアライン仕上

押しボタンの表面を贅沢にもステンレスでコーティング。傷や、磨耗に対して強く、汚れや傷もつきにくい仕様になっています。

表示はドットマトリックス式を採用

階数表示、昇降表示をドットマトリックスで見やすく、多彩な表示が出来る仕様になっています。



各種管制運転の状態を表示



表示部に「使用中」「冠水」「停電」「地震」「過積載」各種管制運転の表示をLEDで表します。

●:基本仕様、○:有償付加仕様

項目		仕様内容	仕様区分
操作表示	かご操作盤	フェイスプレート	ステンレスヘアライン仕上げ
		位置、方向灯 表示灯	ドットマトリックス表示 LED表示
	乗場操作盤	フェイスプレート	ステンレスヘアライン仕上げ
		表示 表示灯 押ボタン	ドットマトリックス表示 LED表示 ストローク式 表面:ステンレスコート
防湿型操作盤		高湿度環境や昇降路での結露対策、又は屋外開放型戸の防水対策が必要な場合に適しています。	○

操作方法

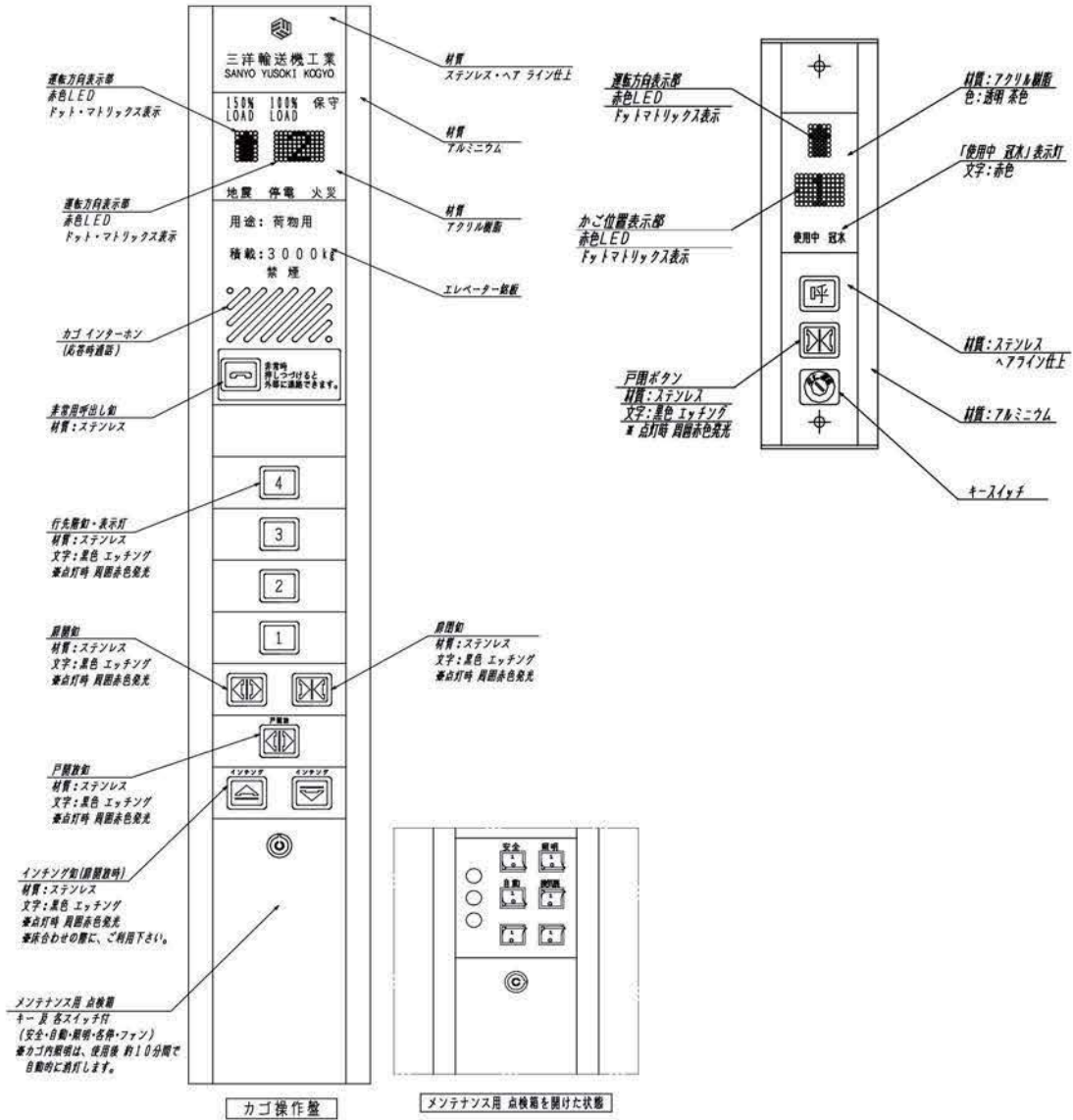
- ①単式自動運転方式 : SAC
- ②単式自動送り運転方式 : SAC-SEN
- ③全自動運転方式 : SCC

	操作・表示器具	機能概要	備考
乗場 操作盤	方向灯	インジケーターが運転中の方向を示します。	ドットマトリックス表示
	位置表示灯	エレベーターのかご位置を示します。	
	使用中灯	エレベーターが使用中であることを示します	LED表示
	呼びボタン	呼びを登録できます。使用中灯が点滅中は無効です。	SCCの場合はありません
	昇り呼びボタン	上に行きたい時に押してください。	SCCの場合のみあります
	降り呼びボタン	下に行きたい時に押してください。	
	式自動運転方式 乗場送りボタン付	ご使用後はすみやかに戸を閉めて次の使用が出来るようにご協力ください。	SCCの場合はありません
	送りボタン	目的階の押しボタンを押し続けると戸が閉まり、かごをその階に送ります。	SAC-SENの場合のみ
	運転・休止 キースイッチ	1階乗場キースイッチは標準仕様です。乗場で運転・休止ができます。	1F以外のキースイッチは有償付加仕様
かご 操作盤	全自動運転方式	インジケーターが運転中の方向を示します。	ドットマトリックス表示
	位置表示灯	エレベーターのかご位置を示します。	
	送受話口	管理人と通話ができます。	電源：充電池式
	インターホン・ボタン	非常時に押続けると、外部と連絡できます。	
	行先階ボタン	行きたい階のボタンを押してください。	
	フロアカット スイッチ	行先階ボタンの横にキースイッチを設け、その階の利用制限ができます。	有償付加仕様
	戸開ボタン	戸閉動作時に押すと戸は反転して開きます	
	戸閉ボタン	戸開時に押すとただちに戸が閉まり始めます	
	戸開放ボタン	一定時間戸は開放状態となります。(開延長)	開放時間設定可能
	イン칭ングボタン	  を押すと、一定の範囲内で手動でレベル補正が行えます。	動作条件：戸開放操作作動時、100%以下の荷重
スイッチボックス	キーを差し込み回すとスイッチボックスが開き内部に保守・管理用のスイッチや非常停止スイッチがあります。		

操作盤 1 / 3

単式自動運転方式 (SAC)

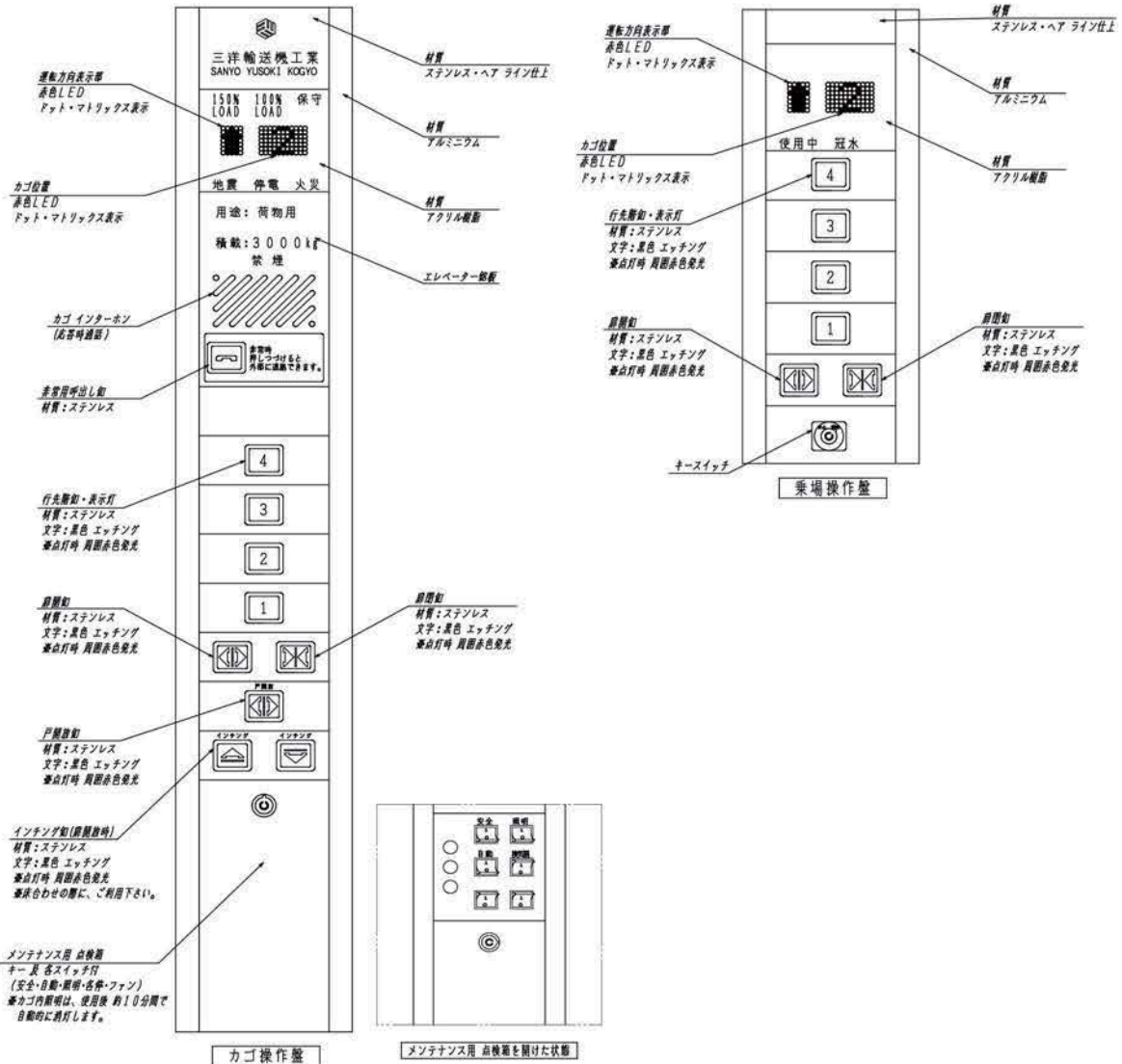
基本仕様



操作盤 3 / 3

単式自動運転方式 乗場送りボタン付
(SAC-SEN)

有償付加仕様



オプション操作

保護機能

最寄り階低速自動着床運転

エレベーターが階と階の途中で何らかの原因で停止した時も、運行を妨げないように作動する装置です。自動的に故障の原因を調べ、エレベーターを動かしてもさしつかえないと判断した場合、自動的に最寄りの階まで低速運転し、ドアを開きます。

他階ランディング(片開戸形式のみ)

エレベーターが着床した際に、もし乗場の敷居溝に異物などがはさまって戸が開かない場合は、運行を妨げないように他の階へ行ってドアを開きます。

セキュリティ機能

暗証式シークレットコール

あらかじめ特定の階に暗証番号を設定しておくことで、その暗証番号を知っている人だけがご呼びの登録をすることができます。設定後の暗証番号の変更も自由です。特定の階への部外者の出入りを制限したいときに最適です(キースイッチでも対応可能です)。

かご内TVカメラ

かごの中にTVカメラを設置することによりかご室内部の状況をモニターすることができます。

ドアセンサ機能

ドア圧力反転(片開戸形式のみ)

ドア開閉の力をきめ細かく監視し、戸の開閉途中に物がはさまって、異常な圧力が加わると、戸を反転させます。特に敷居の溝に小石やゴミが詰まったりしている時には、無理に開いたり閉じたりせず、開閉動作を繰り返して排除に努めます。

ビーム式ドアセンサ

エレベーターに追加の荷物などを、いざ搬入しようとするときにドアが閉じかけてしまうことがよくあります。ビームドアセンサは、エレベーターの出入口前面に設けた2本の赤外線ビームによって、荷物の出し入れ乗り降りをチェック。センサが感知すると速やかにドアを開き、荷物などを戸に当てたりしないように見守ります。

サービス機能

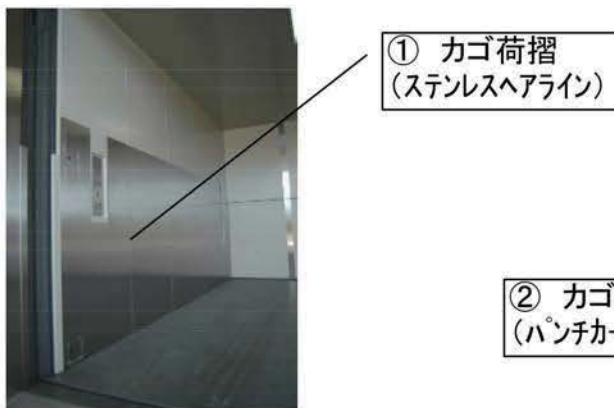
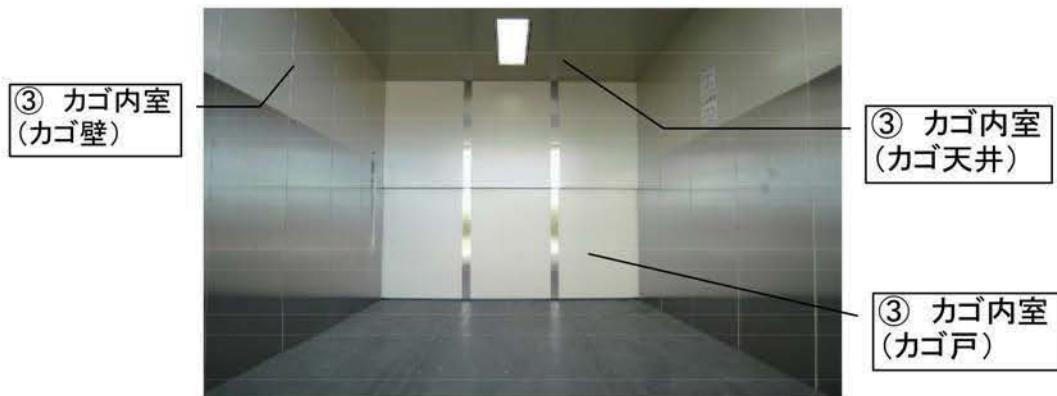
サービス階切放し

サービス切放しスイッチにより、特定の階へエレベーターを停止させないようにすることができます。(緊急時にはサービス切放し階へ停止する場合があります)。

乗場操作盤

乗場に行先ボタンを設けたことにより、エレベーターに乗る前に行先階の登録ができます。ボタン操作が1回で済み、利便性が向上します

塗装色 1 / 2

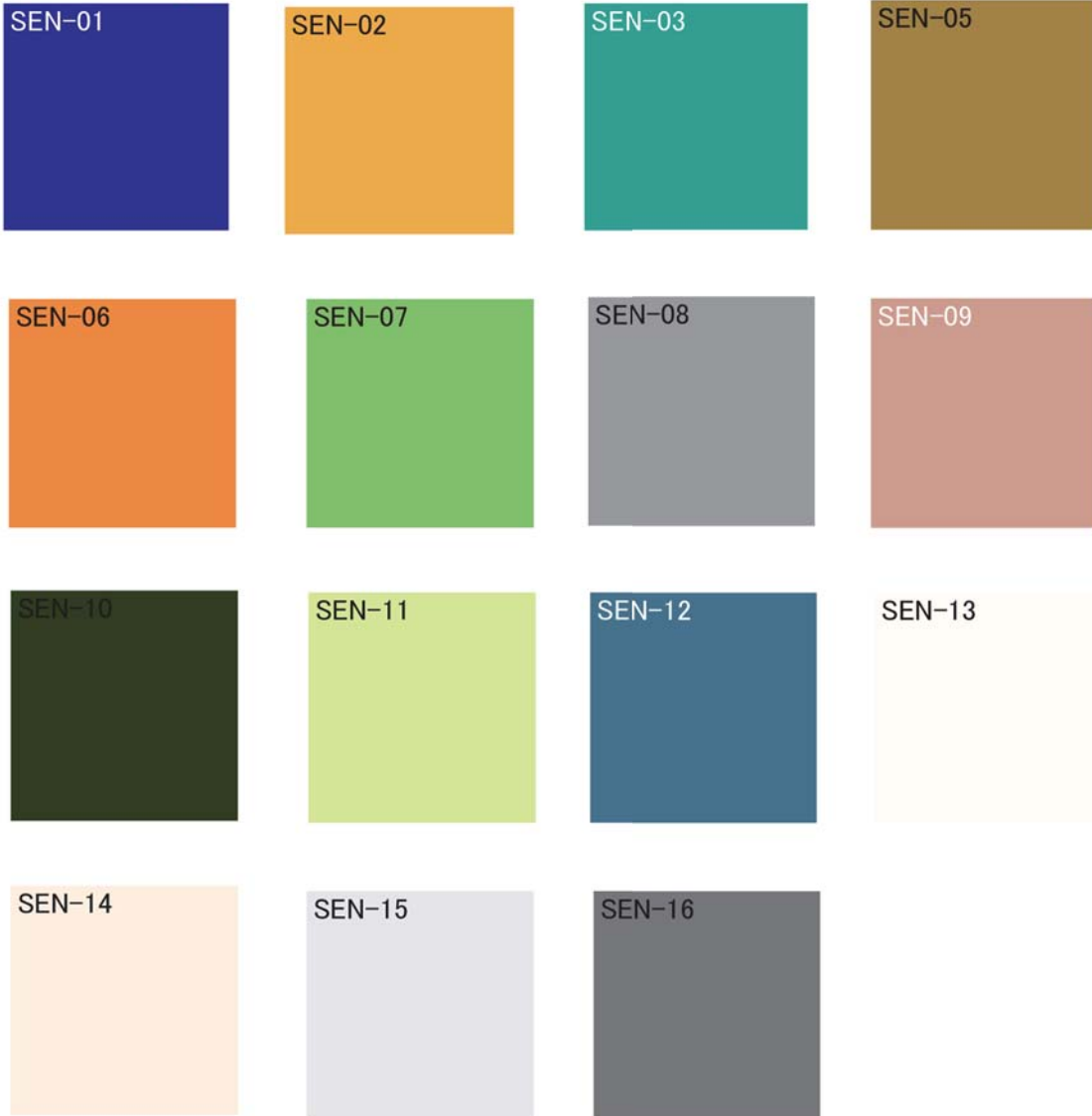


- ① 荷摺・・・ステンレス製のカゴ内壁面に取り付け荷当てなどの際の傷を防ぎます。
② 養生保護幕・・・エレベーターを保護するために、貼るマットのことをいいます。(難燃材 製品)
エレベーターの用途も様々なことが考えられます。荷物運搬がはげしい、損傷を防ぎたい、また、美しい塗装をいつまでも保ちたいなどお考えの方にご利用いただくと良いものです。養生幕はマグネット式、壁掛け式をお選びいただけます。

塗装色 2 / 2

塗装色

- ・塗装色選定の際は、エレベーターの用途によって、ご検討下さい。
- ・色のご指定は、カラー・コードでお申し付け下さい。
- ・カラー・ガイドは、実物と多少異なる場合がありますので、ご了承願います。



※塗装色は日本塗料工業会塗料用標準色見本帳からでも御選びいただけます。
 (ただし、メタリックカラーは除く)
 ※特にご指定のない場合、光沢度50%(5分ツヤ)仕上がりとなります。

- | | |
|---------|--------------------|
| ① 三方枠 : | サンプル
B群よりお選び下さい |
| ① 乗場戸 : | サンプル
A群よりお選び下さい |
| ③ カゴ内室: | サンプル
B群よりお選び下さい |
| ⑥ カゴ床 : | SEN-16 縞鋼板使用時標準色 |

仕様一覧 1 / 2

●:基本仕様、○:有償付加仕様

項目		仕様内容	仕様区分	
日常 管理	荷扱 者配 慮	ワンタッチ戸閉動作	目的階へ走行のため行先階ボタンまたは戸閉ボタンを操作したとき、ワンタッチ操作で戸閉を行います。	○
		かご内ミラー	かご内の死角を無くし、作業性が向上します	○
		パトライト	戸開放時間終了後ドアが閉まろうとする5秒前より回転して扉が閉まるのを知らせます。	○
		乗場天井つり下げ式 プルスイッチ	プルスイッチにより、フォークリフト等に乗ったままエレベーターの呼び登録や戸閉操作ができます。	○
		光リモコンスイッチ	光リモコン装置によりフォークリフト等に乗ったまま、呼び登録や戸閉・戸開放・カゴ送りの操作ができます。	○
		かご内ガード	かご床に固定した鋼製などの車止めです。壁面衝突保護に有効です。	○
	保 安	同時通話インターホン	かご内から、管理者と通話できます。	●
		停電灯	停電のとき、バッテリーでかご内非常照明を点灯します。	○
		かご内換気扇 照明自動休止	所定時間エレベーターが利用されないと、自動的にかご内換気扇を止め、かご内照明を消灯します。	●
		カゴ内ボタンボックス	エレベーターの照明、換気扇、手動運転・安全スイッチなどを備えたキー付ボックスをカゴ内に設置します。	●
異常通報システム		異常通報を三洋輸送機工業㈱の情報センターに送る遠隔監視装置用のインターフェースです。	○	
乗場キースイッチ		1F乗場のキースイッチによりエレベーターを運転・休止する事ができます。	●	
かごキースイッチ		かご操作盤の各階ボタンの横にキースイッチを設置し、その階への停止制限ができます。	○	
かご上スピーカー かご内コンセント		BGMや非常放送を流すことができます。 最大容量:600W	○	
防 災 管 理	監視 管理 機能	冠水管制運転	ピットが浸水したのを感知するとエレベーターを休止させます。	●
		停電時自動着床装置 (ARED)	停電時に、バッテリーによりエレベーターを最寄り階に停止させます。	○
		地震時管制運転 (ECS-S)	感知器が設定値以上の地震を感知すると、エレベーターを最寄り階に停止させます。	○
		P波センサー付地震時管制運転 (ECS-P)	地震を大きな揺れがくる前の初期微動(P波)で感知し、エレベーターを最寄り階に停止させます。	○
		火災時管制運転 (FCS)	火災時に監視室等のスイッチ又は火災報知信号等によりエレベーターを避難階へ呼び戻します。	○
		自家発時管制運転 (GCS)	停電時に自家発電機によりエレベーターを運転します。	○
		監視盤	監視室でエレベーターの運行状態を監視するための装置です。	○

仕様一覧 2 / 2

●:基本仕様、○:有償付加仕様

項目		仕様内容	仕様区分		
日常管理	ドアセンサー	セーフティシュー	閉まりかけた戸に荷扱者や荷物等がはさまれたとき、これを検出して戸を開きます。	●	
	光電式	横開き戸	かご側	かごの内部に設けた2条の光電ビームを、荷扱者や荷物等が遮るとドアは反転して開きます。	●
		上開き戸	かご側		
			乗場側	乗場枠内に設けた2条の光電ビームを、荷扱者や荷物等が遮るとドアは反転して開きます。	○
	荷扱者配慮	積み過ぎ防止装置	かご内の荷扱者や荷物が作業中に積載量を超えようとするとき警報を発して戸を開いたままにします。	○	
		フォークリフト乗込警報	フォークリフト乗込時、停止中に積載量の150%を超えようとする前に、警報を発して戸を開いたままにします。	○	
		戸閉忘れ時自動戸開機能	戸閉を忘れた場合には、一定時間後(約1分)に戸閉動作報知をし自動的に戸が開きます。	●	
		戸開延長ボタン	戸開時に開延長ボタンを押すと一定時間(1~3分)戸は開放状態となります。戸開放中でも戸閉ボタンを押せば戸はすぐに閉まります。	●	

電気設備 1 / 2

- **動力電源**
所定の加減速・着床特性を得るために適容量の設備が必要です。
電源の質は、電圧変動+5%~-10%以内、電圧不平衡率5%以内に保ってください。
電源側ノーヒューズと協調をご考慮ください。
- **照明電源**
かご内の照明・インジケータの点灯に使用します。他個所の停電に影響されないように独立回路としてください。
- **インターホン**
非常時にかご内と外部で通話するために必要な設備です。
インターホンの親器は常時管理責任者の在室する管理室または乗降ロビーに取付けます。
この親器取付け場所からエレベーター機械室までの配管配線は別途工事になっています。
配管配線工事をスムーズに行うために、インターホン親器の取付位置は建築設計の初期に決定されるようお推めします。
- **昇降路換気設備**
昇降路の室温が40°Cを超えないよう十分な換気扇を設備してください。
また、換気扇に対向した位置には、ガラリを設けてください。
- **ピット内照明設備**
機械室無しエレベーターの場合、ピット内での保守作業の安全確保の為、ピット内メインマシン周辺に、十分な明るさの器具を取付けてください。(40W蛍光灯)
- **点検用コンセント**
ピットで保守作業を行う際必要になります。
※容量 AC単相 100V 15A/台
- **電話線**
遠隔監視機能を発揮させるために必要です。

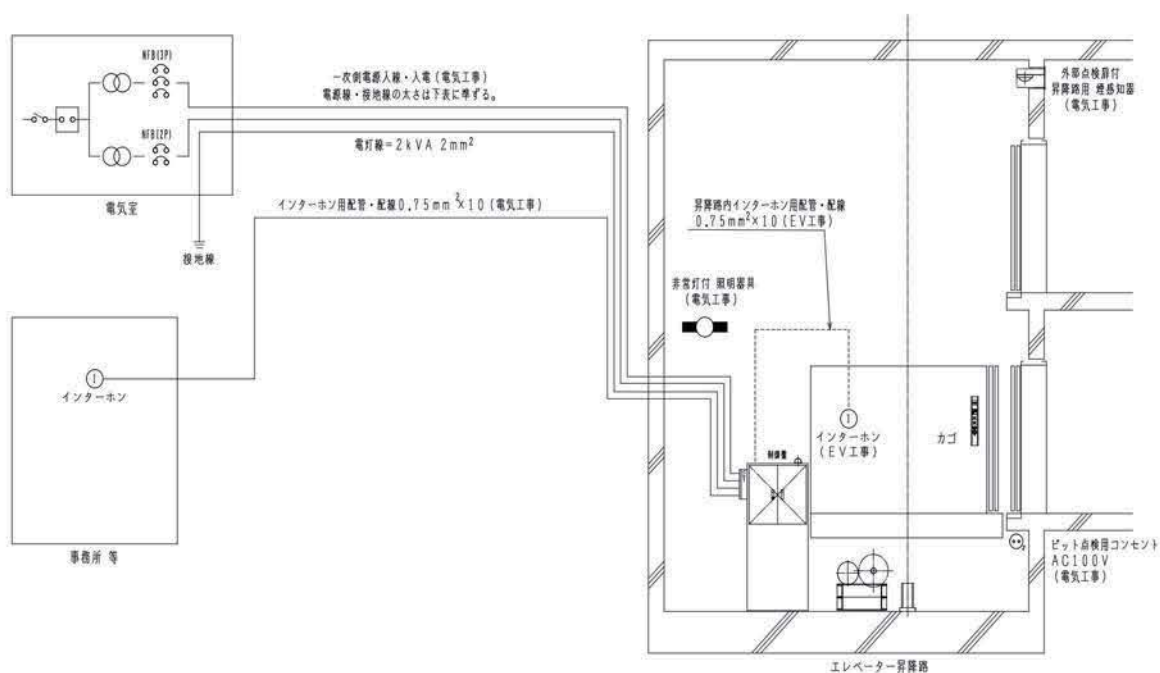
有償付加仕様

電気設備 1 / 2

●エレベーターを安全・円滑に運転するために次の電気設備をご設計ください。仮設電源も同様をお願いいたします。

■電動機容量（定格）に対する電源容量・幹線 一覧表

電圧 周波数	電動機 出力 (kW)	電源側 NFB 定格 (A)	電源 トランス 容量 (kVA)	接地線 最小 太さ (mm ²)	動力電源サイズ別引き込み長さ(m)								
					5.5	8	14	22	38	60	100	150	
					(mm ²)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ²)	(mm ²)	
200V 50Hz	3.7	30	6.3	5.5	53	77	134	211					
	5.5	50	9.1	5.5		55	96	151	261				
	7.5	60	11	8			81	127	219				
220V 60Hz	11	100	16	14				91	157	247			
	15	100	20	14				70	122	192			
	18.5	150	25	14				57	98	155	259		
	22	200	29	14					86	136	227		
	30	225	40	22						100	167	251	
	37	225	48	22						83	139	209	



機械室なしエレベーター施工条件 別途工事一覧 1 / 2

1 適用範囲と趣旨

機械室なしエレベーター請負工事の見積条件の明確化及び契約の適正化を目的に、請負工事毎の別途確認をする施工条件及び見積に含んでいない工事の項目をリストにしたものである。

2 準拠法令

建築準拠法令施行令: 129条の2項及び7項

3 内 容

下記事項は本請負工事には含んでおりませんので、ご留意願います。

[1].昇降路関係

1.1 コンクリート(RC)構造

- 1) 昇降路のコンクリート厚さは120mm以上とし、後打ちアンカーが施工可能な築造工事
- 2) 躯体誤差が30mm以上あるときはつり工事及び補修工事
- 3) 間仕切り及び中間ビーム設置工事
- 4) 敷居持出し工事

1.2 鉄骨(S)構造

- 1) 各階の中間ビーム、立柱及びファスナプレート設置工事
(階高が高い場合、階間にレールブラケットを取付けるための下地鋼材設置工事を含む)
- 2) 敷居受け及びドアレール取付金具設置工事
- 3) 各階出入口機器(三方枠・押釦・インジケーターなど)取付用下地鋼材の設置工事
- 4) 昇降路内鉄骨材の耐火処理工事

1.3 鉄骨・コンクリート(SRC)構造

- 1) 昇降機の各機器固定部が鉄骨の場合、「鉄骨(S)構造」と同様

1.4 共 通(RC, S&SRC 構造)

- 1) 各階出入口機器(三方枠・インジケーター・押釦・インターホン取付ボックスなど)取付用穴あけ工事
- 2) 各階乗場関係機器取付後の出入口廻りの壁ならびに床の仕上工事
- 3) 各階乗場の三方枠と壁間のモルタル・ロックウールなどの充填工事及び耐火処理工事
- 4) ピット内防水工事(必要に応じ、排水処理工事含む)
- 5) ピットが深すぎる場合の埋め戻し工事
- 6) ピット下を使用する場合の建築躯体処理工事
- 7) 併設されたエレベーターのピット間仕切り工事
- 8) ピット点検用出入口またはタラップの設置工事
- 9) 急行ゾーンのあるときの非常時救出口及び出入口設置工事
- 10) 急行ゾーンのある不停止階部分のかご床先から昇降路壁までを125mm以下とする工事
- 11) 昇降路頂部の吊りフックまたはトロリービーム取付工事
- 12) 昇降路内建築工事仮設床用(水平養生)の金網、デッキプレートなどの撤去工事
- 13) 昇降路頂部の煙感知器設備の設置工事(外部より点検可能な点検口の設置を含む)
- 14) 開放廊下及び屋上等直接外気と接する乗場における雨水よけ工事

機械室なしエレベーター施工条件 別途工事一覧 2/2

[2].電気・消防設備工事関係

- 1) 建築基準法施行令に定める昇降路とその他の部分を区画する防火設備工事及びその接点支給とエレベーター制御盤までの配管・配線工事
- 2) 下記電源のエレベーター制御盤までの引込工事及び一次側端子への接続工事
 - ①動力用電源
 - ②照明用電源
 - ③接地線
- 3) エレベーター制御盤受電端における電源電圧の変動を、+5%から-5%以内、電圧不平衡率を5%以内に保つような電源設備工事
- 4) インターホン・非常ベルのエレベーター制御盤までの配管・配線工事
- 5) ピット内点検用コンセントの設置工事
- 6) 医療機器、放送用機器、コンピューター機器などの電源とエレベーター動力用電源の電源系統分離工事
- 7) エレベーター外部通報用電話線の電話中継盤～エレベーター制御盤までの配管・配線工事
- 8) 自家発電源エレベーターへの供給工事
- 9) 買電、自家発電源識別用無電圧接点の信号線の引込工事
- 10) 昇降路外の監視盤用配管・配線工事
- 11) 監視盤用電源の監視盤までの引込工事(AC-PG電源)
- 12) 非常放送用のエレベーター制御盤までの配管・配線工事
- 13) 火災警報の接点供給及びエレベーター制御盤までの配管・配線工事
- 14) エレベーターとシャッターの連動信号線の機械室又は、昇降路への配管・配線工事
- 15) ハロゲンガス発報信号の供給及びエレベーター制御盤までの配管・配線工事
- 16) 警備用の接点供給及びエレベーター制御盤までの配管・配線工事

[3].仮設工事関係

- 1) 据付工事用現場詰所及びエレベーター機器、据付工事用機器の保管場所の支給
- 2) 着工時に据付工事用電源及び試運転調整時に動力電源の支給
(動力および照明用電源共、本設電源配管経路での引込。容量については別途打合せ)
- 3) エレベーター機器及び据付工事用機器の搬入に支障のない経路の確保。
- 4) 据付工事用砂、セメント、水などの支給
- 5) エレベーター工事着工前までの各階出入口開口部の養生作業

[4].注意事項

- 1) エレベーターを工事用として使用する場合は、この使用に伴う検査費用、復旧(オーバーホール・消耗部品の交換など)費用、定期保守費用、コールバック対応費用などが生じますので、別途「御見積書」による契約が必要です。なお、出入口・かご内養生ならびに使用時の専属運転手の手配は、工事使用者側で対応願います。
- 2) 昇降路は下記の構造として下さい。
 - ①エレベーターに関係する以外の用途の配管・ダクトなどが露出しないこと。
(建築基準法施行令第129条の2の5の第三項)
 - ②有毒ガス、甚だしい塵埃などが入らないこと。
 - ③雨風にさらされたり、塩分の影響を受けないこと。
- 3) エレベーターの各階出入口は、直射日光が当たらない構造とすること。
- 4) 昇降路内の騒音・振動が外部に伝搬しない配置、躯体構造(防音・防振工事等)とすること。
- 5) 躯体が承諾図と相違がある場合は、エレベーター着工までに躯体の修正をお願いします。

サービス・ネットワーク

近畿圏10カ所のサービス・ステーションを中心に迅速、的確なサービスをお届けしています。

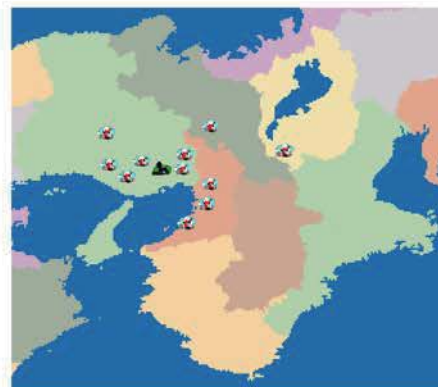
本社サービスグループ

〒661-0985

兵庫県尼崎市南清水39-8

サービス・ステーション

近畿圏・東京・福岡



連絡するには・・・

1. 建物名及び所在地、エレベーターの管理番号
(複数の号機がある際は、号機番号もお伝え下さい。)
2. 連絡先の担当者名及び電話番号
3. かご内の乗客の有無
4. エレベーターの故障状態、及び停止階

※どのような操作をした後で異常がでたか、またどのような操作ができ、どのような操作ができないなど、お気づきの点があれば正確にお伝え下さい。

管理番号
H-〇〇〇〇〇〇
故障の際は、下記へ
ご連絡下さい。
TEL:06-6493-6154
三洋輸送機工業(株)
サービス課

※このステッカーが貼られています。

当社のエレベーターはその制御システムとして常に専ら構成部品の働きを監視しています。そして幾多の構成部品に何らかの異常を発見した場合、感知し自動的に停止します。また、その重要度に基づき、通常運転の継続や減速運転又は緊急停止の必要性を自動的に判断し、実行致します。

サービス・コンテンツ

三洋輸送機工業株式会社 サービスネットワーク



同時通話インターホン

無停電電源方式のインターホンをかご内に設置いたします。同時通話式なので、CALL釦で相手が受話器を取りさえすれば、後は普通の電話同様に会話ができます。かご内の防犯にも一役かかっております。



異常時自動通話システム※2

かご内のインターホンに当社カスタマー・サービス部門への通報(直接電話機能)を追加致します。これにより管理人不在時でも適切な対応ができ乗客の不安も緩和されます。またビル管理の省力化にも貢献します。

(オプション)



年中無休24時間体制で

信頼にお答えします。最短時間での復旧を実現する為、主要拠点毎にサービス・ステーションを設置しております。万一の事故・故障時にも出動可能な最寄のサービス・ステーションよりエレベーター技術者を急行させます。



- 注意) 1. 異常時には必ず当社に連絡の上、エレベーター技術者の指示を受けて下さい。如何なる緊急時においてもエレベーター技術者の支持なく復旧を試みることは危険であり、これを禁じます。
2. 本システム稼動にあたっては、専用電話回線を開設して頂く他、当社との保守契約が必要となります。尚、本システム稼動にあつては、当社との保守契約が必要となります。

確実は保守・点検と適切な 情報提供を致します。

毎月の保守・点検は、専任の技術者によって行います。これにより利用環境によって生じる固体毎のケも掴めいわばホームドクターのようにきめ細かな対応が可能となりました。技術者が得た情報はわかりやすくご説明致しますので、管理にお役立て下さい。

個別情報管理によって予防保守 に努めます。

独自開発のデータベースにより1台1台について、詳細な保守履歴が記録・管理されます。これにより従来は予測が難しかった部品交換の時期もある程度、予測が可能となりました。技術者は、この情報を参考に点検を行い結果をお客様に御報告。予防保守を行います。予防保守は部品が壊れる前に交換する為故障を未然に防ぐ事は勿論、コストダウンにも繋がります。

●安全とは、万全なメンテナンスと統括されたサポートシステムの上に成り立つものです。

メンテナンスの種類

当社は、快適なエレベーターメンテナンスを御提供致します。
エレベーター/「昇降機」の正常かつ良好な運転状況を保つ為に計画的に点検を行います。
エレベーター業界では、主にFM(フルメンテナンス)契約*₁とPOG(点検)契約*₂があります。

①FM(フルメンテナンス)契約

機器の磨耗・劣化を予測し、機能維持を図る為に、各 부품の点検・給油・調整等を行い、
機器構成部分の修理・部品交換を行います。修理費用の詳細は各営業担当にお尋ね下さい。

②POG(点検)契約

機器磨耗・劣化を予測し、機能維持を図るため、各 부품の点検・給油・調整等を行い、
機器の構成部分の修理・部品交換について提言を致します。蛍光灯・ヒューズなどの
小消耗品は保守料に含まれておりますが、その他の部品の交換・修理の詳細は各営業
担当にお尋ね下さい。

FM(フルメンテナンス)契約に比べて、月々の保守料金は低料金設定にしておりますが、
エレベーターのコンディションは、FM(フルメンテナンス)契約と変わりありません。

メンテナンススケジュール

エレベーターを使用するにしがたい、または時間の経過とともに、部品の劣化や磨耗などが進みます。エレベーターの健康状態を一番よく把握していなければならないのはお客様ご自身であり、定期点検整備は言うまでもなく、日常点検などの日頃からのチェックが必要となります。大きなトラブルや余分な出費を防ぎ、より一層の安心を得るために、こまめな点検整備を心がけましょう。

法令で定められた点検整備

・日常点検

エレベーターの使用状況に応じてお客様自身で実施可能な点検項目となっています。

点検目安としては、使用前、後に実施します。

・月次点検

標準的なエレベーターの使用(10,000回/年)を前提に、安全の確保、省エネの上から毎月1回実施する必要最小限の点検整備項目です。

・年次検査

法令で定められている年次検査です。安全装置の作動状況、ロードテスト等を検査機関或いは有検査資格者がお客様のエレベーターを検査します。

三洋輸送機工業株式会社が指定している点検整備

・納入後3か月間無料点検(3回)

納入お引渡し後1ヶ月目と2ヶ月目と3ヶ月目の3回、無料で点検を実施します。

・定期的な部品交換整備

油脂類やフィルターは使用回数または期間により性能が低下(劣化)していきますが、外観の点検では劣化の判断が難しいため、使用回数や期間により定期的な交換を指定しています。

三洋輸送機工業株式会社がおすすめする安心メンテナンス(奨励)

エレベーターより快適に、より安全にご使用いただくために、定期点検整備(法律で定められた整備)以外に基本的なポイントを点検整備し、消耗・劣化部分のメンテナンスを行います。

シビアコンディション時の点検・整備について

標準的な使用条件と著しく異なる厳しい条件でエレベーターを使用される場合、部品の劣化度合が異なってくる場合があります。

そのようなエレベーターは、安全を確保するために通常よりも早めに点検整備が必要です。実施にあたっては、三洋輸送機工業株式会社または販売店へ依頼することをお奨めします。



各種エレベーター（ロープ式・油圧式・MRレス式・防爆式）

三洋輸送機工業株式会社

SANYO YUSOKI KOGYO Co.Ltd Elevator and Escalator

本	社	〒661-0985 尼崎市南清水39 番8 号
		T E L (06) 6493-6151 (代)
		F A X (06) 6493-6118
工	場	エレベーター製造許可認定工場
サービス		近畿圏・東京・福岡
ステーション		
U R L		http://www.sanyo-elevator.co.jp
E-mail		sanyo@sanyo-elevator.co.jp